

^{ディスプレイ用} テレビチューナーボックス TVBOXES 取扱説明書



M-MANU200008-01

もくじ

必ずお守りください	4
本製品の特徴	3
お読みになる前に	3
もくじ	1

はじめに	12
 箱の中には	13
動作環境	15
各部の名称・機能	16
本体 側面	
本体 前面・背面	
リモコンのボタン	

準備しよう	22
準備しよう	
縦置きスタンドを取り付ける	
リモコンに電池を入れる	
接続しよう	25
テレビを見るための接続	
映像機器の映像を見るための接続	
パソコンの映像を見るための接続	

<u>使ってみよう</u>

ってみよう	32
映像を見よう	
テレビを見る	
接続した映像機器の映像を見る	
パソコンを使う	
設定/調整をしよう	
設定/調整できる項目は	
設定/調整方法(基本操作)	
設定/調整方法(項目別)	
チャンネル設定	40
地域設定	41
自動選局	
手動選局	43
画質調整	45
オーディオ調整	
解像度選択	47
PinP設定	
オフタイマー	50
その他調整	51

<u>困ったときには</u>

54

ふろく	58
仕様	59
お問い合わせ	61
修理について	62

お読みになる前に

このたびは、テレビチューナー内蔵 アップスキャンコンバーター TVBOXESをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用の前 に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いします。

呼び方

呼び方	意味
本製品	TVBOXES
入力ソース	本製品内蔵のテレビチューナーや、本製品に接続し た映像機器からの映像信号
テレビ	本製品内蔵テレビチューナーからの映像信号(テレ ビ)
ビデオ	ビデオ入力端子に接続した映像機器からの映像信号
Sビデオ	S ビデオ/コンポーネント入力端子に接続 した映像機 器からの映像信号
コンポーネント	S ビデオ/コンポーネント入力端子に接続 した映像機 器からの映像信号

「Sビデオ/コンポーネント端子変換ケーブル」(本製品に添付)を使用して 接続します。

マークの説明

注意

参考



本製品を使う上で、注意するべきことが書かれています。



本製品を使う上で、役に立つことが書かれています。

本製品の特徴

本製品は、テレビチューナーを内蔵したアップスキャンコンバーターです。 本製品とアンテナ、パソコン用のアナログ接続ディスプレイを接続すれば、 パソコン操作なしでディスプレイにテレビ画像を表示することができます。

З

必ずお守りください

お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使 いいただくための注意事項を記載しています。 ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

警告および注意表示

<u>/</u> 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または 重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される内容を 示しています。
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大 な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
<u>/</u> 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

この記号は注意(警告を含む)を促す内容を告げるもの です。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

列) 🕭 「発火注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。 記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

▶ 「分解禁止」を表す絵表示



この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。

記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。



<u> </u>危険



本製品を修理・分解・改造しないでください。

火災や感電、破裂、やけど、故障の原因となります。 修理は弊社修理センターにご依頼ください。分解したり、改造した場合、 保証期間であっても有料修理となる場合があります。



発熱、破裂、発火、液漏れにより、けがややけどの原因となります。 ● 火の中に入れたり、加熱したりしないでください。

- また、60℃以上の場所、車中に放置しないでください。
- 水などでぬらしたりしないでください。
- (+)(-)を逆に接続しないでください。
- (+)(-)を金属類で短絡させたり、はんだ等を使用しないでください。
- ネックレスやヘヤピン等の金属と一緒に持ち運ばないでください。
- 定格条件以外での使用をしないでください。
- くぎを刺したり、分解・改造をしないでください。
- 投げる、ハンマーでたたくなどの強い衝撃を与えないでください。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。
- 容量、種類、銘柄の違う電池を混ぜて使わないでください。

螫牛

・本製品をお使いになる場合は、本製品を接続する機器やそれの ・周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守し、 ^{廠守} 正しい手順でお使いください。

警告・注意事項を無視すると人体に多大な損傷を負う可能性があります。 また、正しい手順で操作しない場合、予期せぬトラブルが発生する恐れがあ ります。本製品を接続する機器やそれの周辺機器のメーカーが指示している 警告、注意事項、正しい手順を厳守してください。

☞ 煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してく ☞ ださい。

電源プラ グを抜く

- 電源を切って、コンセントからプラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
 - 電池を取り出してください。そのまま使用すると火災・感電の原因となり ます。

本製品の取り扱いは、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

厳守

●作業の前に、本製品を接続する機器およびそれの周辺機器の電源を切り、 ACコンセントからプラグを抜いてください。 プラグを抜かずに作業を行うと、感電および故障の原因となります。

- 接続ケーブルなどの部品は、添付品または指定品をご使用ください。指定 品以外を使用すると火災や故障の原因となります。
- ケーブルにものをのせたり、引っ張ったり、折り曲げ・押しつけ・加工な どは行わないでください。火災や故障の原因となります。
- 接続するコネクターやケーブルを間違えると、コネクターやケーブルから 発煙したり火災の原因になります。



プラグを抜かずに移動を行うと、感電および故障の原因となります。



本製品をぬらしたり、水気の多い場所で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご 使用は、特にご注意ください。



ぬれた手で本製品を扱わないでください。

感電や、本製品の故障の原因となります。

、決められた電流内で使用してください。

本製品を出力電流の絶対最大定格を超えた電流で使用すると、火災・感電・ 故障の原因となります。



厳守

故障や異常のまま、通電しないでください。

本製品に故障や異常がある場合は、必ず接続している機器から取り外してく ださい。また、本製品に通電をしないでください。 そのまま使用すると、火災・感電・故障の原因となります。



ACアダプターについては以下にご注意ください。

- 必ず添付または指定の AC アダプターを使用してください。
- ケーブル部分を加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり しないでください。





- ケーブル部分を AC コンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- 電源プラグは、ぬれた手で AC コンセントに接続したり、抜いたりしないで ください。感電の原因となります。
- AC コンセントに接続されているときにはぬれた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- AC アダプターにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
- ●保温・保湿性の高いものの近くで使用しないでください。 (じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど)
- 本製品を長時間使わない場合は、AC アダプターを電源から抜いてください。

AC アダプターを長時間接続していると、電力消費・発熱します。

● プラグはほこりが付着していないことを確認し、根本までしっかり差し込んでください。ほこりなどが付着していると接触不良で火災の原因となります。

電池の液が漏れたときは以下の指示に従ってください。

直ちに火気より離してください。漏液した電解液に引火し、破裂、発火する 原因となります。

電池の液が目に入ったり体や衣服につくと、失明やけが、皮膚の炎症の原因 となります。

液が漏れたとき → 漏れた液に触れないように注意しながら、直ちに火 気より離してください。

液が目に入った とき
目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充 分洗い、ただちに医師の診察を受けてください。

液が体や衣服に ♥ すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してく ついたとき ださい。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医 師に相談してください。

電池の使用中、保管時等に発熱したり、異臭を発したり、変 色、変形、その他今までと異なる場合は使用を中止し、弊社 ^{厳守} サポートセンターにご連絡ください。



厳守

電池は乳幼児の手の届かない場所に置いてください。

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となります。

万一、飲み込ん
◆ ただちに医師に相談してください。
だとき

電池を充電しないでください。

液が漏れて、けがややけどの原因となります。

禁止



電池の廃棄にあたっては、地方自治体の条例または規則に従 ってください。 必ずお守りください

y

▲ 注意



本製品のコネクター部分や部品面には直接手を触れないでく ださい。

> 静電気が流れ、部品が破壊されるおそれがあります。また、静電気は衣服や 人体からも発生するため、本製品の取り付け・取り外しは、スチールキャビ ネットなどの金属製のものに触れて、静電気を逃がした後で行ってくださ い。



ケーブルについて

- ケーブルは足などに引っ掛からないように、配線してください。足を引っ 掛けると、けがや接続機器の故障の原因となります。
- 熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が破れ、接触不良な どの原因になります。
- 動作中にケーブルを激しく動かさないでください。接触不良およびそれに よるデータ破壊などの原因になります。

電池を使い切ったときや、長時間使用しないときは取り出し てください。

厳守

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となります。

万一、液漏れしたときは、乾いた布などで電池ケースの周りをよく拭いてか ら、新しい電池をいれてください。



眼精疲労について

ディスプレイを見る作業を続けるときは、作業場を300~1000ルクスの明る さにしてください。また、連続作業をするときは、1時間に10分から15分 程度の休憩をとってください。長時間ディスプレイを見続けると、眼に疲労 が蓄積されます。

」はじめに、音量(ボリューム)を最小にしてください。

し厳守

突然大きな音がでて聴力障害などの原因になることがあります。 ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにしてください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭き してください。

- 洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しない でください。
- 市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わ ないでください。故障の原因となります。



本製品を結露させたまま使わないでください。

時間をおいて、結露がなくなってからお使いください。 本製品を寒い所から暖かい場所へ移動したり、部屋の温度が急に上昇する と、表面・内部が結露する場合があります。 そのまま使うと誤動作や故障の原因となる場合があります。



本製品は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。



指定の電池以外は使わないでください。

指定した形以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。



添付の電池は動作確認用の物です。

ご使用の際は、新しい電池をご用意ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に 基づくクラスB情報技術装置です。 この装置は、家庭環境で使用することを目的としています が、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用 されると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

はじめに

ご使用の前に、必要なものがそろっているか、正しく動作できる環境か確認します。

箱の中	には			• •	•	 	•	•	 •	•	•	-		•	•	•	•	•	•	-	•	•	•	•	13
動作環	境…				-	 		•			•	-		•	•		•	•	•	•	•		•	•	15
各部の	名称	・機쉵	Ŀ.		•	 		•	 •		•						•	•	•	•		•	•	•	16
本体 本体 リモ	側面 前面 コンの7	・背面 ド	••••	· · ·	· · · ·	 · · ·	•••	 	 · · · ·	· · ·	· •	· · · ·	•••	•	· · · ·		•	 		 	• •	· ·	•••	 	16 17 19



箱の中には以下のものが入っています。



13



万一、不足がございましたら弊社サポートセンターまでお知ら せください。

参 考	箱・梱包材は 大切に保管し、修理などで輸送の際にお使いください。 イラストについて 実物と若干異なる場合があります。 ユーザー登録について シリアル番号 (S/N)をメモしてください。
	シリアル番号(S/N)は、本製品に貼られているシールにあ
	る12桁の英数字です。(例:ABC0987654ZX) シリアル番号(S/N)は、ユーザー登録の際に必要です。 ユーザー登録 http://www.iodata.jp/regist /

動作環境

ご使用になる環境が、以下の条件を満たしているか確認してください。

対応入力機器

映像機器	以下の出力端子を持つ映像機器/ゲーム機 ・ビデオ出力端子 ・S ビデオ出力端子
	・コンポーネント出力端子(480i)
	アナログ RGB 出力を搭載した以下の機種
パソコン ^{1、 2}	・DOS/V マシン ³
	・Apple Macintosh シリーズ ^{4、 5}

対応出力機器

15

音声機器	・アンプ内蔵スピーカー ・ヘッドホン
ディスプレイ 🌯 7	・アナログ RGB 入力を搭載した液晶ディスプレイ ・CRT ディスプレイ

映像機器、音声機器およびパソコン、本製品添付品以外のケー が考していた。

- 1:テレビやビデオの表示のみ行う場合、パソコンは不要です。
- 2: ノートパソコンではご使用いただけません。
- 3:弊社では、OADG 加盟メーカーの DOS/V マシンで動作確認をしています。
- 4: D-Sub15 ピン端子のアナログ RGB 出力端子を持たない機種ではご使用 いただけません。
- 5:一部の Apple Macintosh シリーズに接続する場合には、必要に応じ て別途専用コネクターをお買い求めください。
- マルチスキャンタイプのディスプレイ、および、水平同期周波数が 31.5kHz に対応するディスプレイでご使用いただけます。
 24kHz のみに対応するディスプレイではご使用いただけません。
- 7: ディスプレイの取扱説明書も参照してください。

各部の名称・機能

以下の図を参照しながら、各部分の名称と機能をご確認ください。

本体 側面



名称	機能
1 電源ボタン	電源のオン/オフを行います。
2 SOURCEボタン	接続されている映像機器の入力信号を切り替えます。 テレビ(初期値) VIDEO S-VIDEO COMPONENT PCの順に切り替わります。 調整/設定画面表示時は、PinP(ピクチャーインピ クチャー)画面の入力ソースが切り替わります。
3 MENUボタン	設定/調整画面を表示します。
4 ENTERボタン	調整/設定画面表示時に、選択中の項目を確定する 際に使います。また、調整/設定時に3秒以上長押 しすると、[5 CH.+ボタン、CHボタン]で カーソルを動かす際の縦横の方向を切り替えるこ とができます。
5 CH. + ボタン CH ボタン	チャンネルを1チャンネル単位で切り替えます。音 量バー表示時は音量の調整、その他調整/設定画面 表示時は項目選択ボタンとなります。



PinP(ピクチャーインピクチャー)とは パソコン画像を表示している画面(メインウィンドウ)上に、 テレビなどの映像機器からの画像をサブウィンドウとして表示 する機能です。



名称	機能	
6 リモコン受光部	リモコンはここに向けて操作してください。	
	リモコン受光部の前に物を置く などして、受光部をふさがない でください。 リモコン受光部に強い光を当て ないでください。	
7 電源ランプ	電源オン時に点灯します。	
8 ヘッドホン端子	ヘッドホンを接続します。	
	ヘッドホンを接続した場合、スピー カー出力端子からの音声出力は停止 します。	

名称	機能	
9 オーディオ 入力端子	映像機器のオーディオ出力端子と接続します。 Sビデオかビデオ、またはCOMPONENTのうちいず れか一つの音声入力となります。	
 10 ビデオ入力端子 11 S ビデオ/ コンポーネント 入力端子 	ビデオ出力端子を持つ機器と接続します。 添付の S ビデオ/コンポーネント端子変換ケー プルを使って、コンポーネントまたは S ビデオ 出力端子を持つ映像機器と接続します。	
	コンポーネントケーブル、Sビデ オケーブルは、別途ご用意くだ さい。 本端子には、Sビデオケーブルを 直接つなぐことはできません。 Sビデオケーブルを接続する際 は、添付のSビデオ/コンポーネ ント端子変換ケーブルを使用し て接続します。(詳しくは29 ページを参照してください。)	
12 DC IN(DC 12V)	添付のACアダプターを接続します。	
13 アナログRGB 出力端子	ディスプレイのアナログRGBケーブルを接続し ます。	
14 アナログRGB 入力端子	添付のアナログRGBケーブルでパソコンのアナ ログRGB出力端子と接続します。	
15 パソコン音声 入力端子	添付のオーディオケーブルでパソコン音声出力 端子と接続します。	
16 スピーカー 出力端子	スピーカーを接続します。	
17 アンテナ接続 端子	アンテナ線を接続します。	

リモコンのボタン



名称	機能
1 電源ボタン	電源のオン/オフを行います。
2 チャンネルボタン	登録済みのチャンネルを呼び出します。 [CATV]モード時は、数字を打ち込むキー(テ ンキー)として、CATVのチャンネル数をダイレ クトに入力できます。(詳しくは51ページを参 照してください。)
3 チャンネル予備	登録したいチャンネルが [2 チャンネルボタ
ボタン	ン]だけでは足りないときに使用します。
4 メニューボタン	設定/調整画面を表示します。
5 メイン/サブ 音声切り替えボタン	PinP使用時に親画面と子画面の音声を切り替え ます。
6 入力切替ボタン	テレビ(初期値) VIDEO S-VIDEO COMPONENT PCの順に入力を切り替えます。
7 PCボタン	パソコン画面を表示します。
8 PinPボタン	PinP(ピクチャーインピクチャー)機能を使用 します。

19

名称	機能	
9 オフタイマー ボタン	オフタイマーを設定します。 (0分、30分、60分、90分、120分)	
10 消音ボタン	音声を消音します。 消音を解除する場合は、もう一度[消音]ボタ ンを押してください。	
	入力ソースがパソコンの場合、[消 音]ボタンはご利用いただけませ ん。	
11 主/副音声切り 替えボタン	2カ国語放送のとき 主音声と副音声を切り替えます。 ステレオ放送のとき ステレオとモノラルを切り替えます。	
12 カーソルボタン [▲][▼]	チャンネルを1CHずつ前後に切り替えます。 設定/調整時は、1つずつ値を上下(増減)させ ます。	
13 カーソルボタン [◀] [▶]	音量を調整します。 設定/調整時は、5つずつ値を上下(増減)させ ます。	
14 決定ボタン	設定メニューで選択した項目を決定します。	



リモコンの操作範囲

- ・本製品のリモコン受光部から、約5m
- ・本製品のリモコン受光部を中心に、左右約30度 映像機器の電源がオフになっている場合など、映像信号が ない場合は青い画面(ブルースクリーン)になります。



リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物を置かないで ください。 間に障害物がある場合、操作の妨げになります。

ΜΕΜΟ

準備しよう

本製品を使用するための準備や接続方法について説明します。

準備しよう	. 23
縦置きスタンドを取り付ける	. 23
リモコンに電池を入れる	. 24
妾続しよう	. 25
テレビを見るための接続	. 25
映像機器の映像を見るための接続	. 27
パソコンの映像を見るための接続	. 30

準備しよう

縦置きスタンドを取り付ける

縦置きスタンドの突起に、本体背面のくぼみをあわせます。



2本体を背面方向に少しスライドさせます。「カチッ」という 音がしたら、取り付け完了です。



リモコンに電池を入れる

ご購入時は、添付のリモコン用乾電池を入れて動作を確認してください。 また、リモコンが正しく動作しなくなったら、単4乾電池を新しいものに 交換してください。

裏面電池カバーを押しながら手前にスライドさせます。







3 カバーを取り付けます。



添付のリモコン用乾電池は動作確認用のものです。
 ご使用の際は新しい乾電池(単4電池)2個を別途ご用意ください。
 以下のことにご注意ください。
 リモコンの動作不良および故障の原因となります。また、
 【必ずお読みください】の注意事項もご覧ください。
 ・極性(+,-)を逆にしない
 ・指定された乾電池(単4乾電池)以外を使用しない

・交換の際は、必ず電池を2本とも交換する

接続しよう

テレビを見るための接続

本製品にディスプレイとアンテナを接続します。

1 ディスプレイのアナログRGBケーブルを本製品のアナログRGB 出力端子に接続します。

2 アンテナ接続端子にアンテナまたはケーブルテレビ信号線を 接続します。



ケーブルテレビについて ケーブルテレビ(以下、CATVと呼びます。)は放送サービスが行わ れている地域で受信可能です。受信には使用機器ごとにCATV会社と の契約が必要です。詳しくは地域のCATV会社にお問い合わせください。

- **3** スピーカーの音声入力端子と本製品のスピーカー出力端子を スピーカーのオーディオケーブルで接続します。
- **4** 本製品のDC INにACアダプターを取り付け、コンセントにACア ダプターを接続します。



映像機器の映像を見るための接続

本製品にビデオデッキ、DVDプレーヤーなどの映像機器やテレビゲーム機 などの映像機器を接続します。

1 ディスプレイのアナログRGBケーブルを本製品のアナログRGB 出力端子に接続します。

2 本製品の入力端子と映像機器の出力端子を、ケーブルで接続します。

接続については、以下のページを参照してください。

ビデオ出力端子を接続する場合	28ページ
コンポーネント出力端子を接続する場合	28ページ
D端子(D1)を接続する場合	29ページ
Sビデオ出力端子を接続する場合	29ページ

接続端子について 映像機器にS映像出力コネクターまたはD出力端子がある場合は、本製品のSビデオ/コンポーネント入力端子との接続をおすすめします。 Sビデオ信号は、輝度と彩度の信号が分かれているため、ビデオ信号よりも歪みが少なく、鮮明な画像が得られます。 コンポーネント信号は、輝度と赤と青の色差を分離して伝送するため、高品位な映像表現を行うことができます。 コンポーネント信号用コネクターであるD端子を使って本製品を接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが480iのみである「D1」になります。		使用するケーブルは、別途ご用意ください。
映像機器にS映像出力コネクターまたはD出力端子がある場合は、本製品のSビデオ/コンポーネント入力端子との接続をおすすめします。 Sビデオ信号は、輝度と彩度の信号が分かれているため、ビデオ信号よりも歪みが少なく、鮮明な画像が得られます。 コンポーネント信号は、輝度と赤と青の色差を分離して伝送するため、高品位な映像表現を行うことができます。 コンポーネント2月日コネクターであるD端子を使って本製品を 接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが 480iのみである「D1」になります。	参考	接続端子について
 合は、本製品のSビデオ/コンポーネント入力端子との接続をおすすめします。 Sビデオ信号は、輝度と彩度の信号が分かれているため、ビデオ信号よりも歪みが少なく、鮮明な画像が得られます。 コンポーネント信号は、輝度と赤と青の色差を分離して伝送するため、高品位な映像表現を行うことができます。 コンポーネント入力は 480i のみ対応です。 コンポーネント信号用コネクターであるD端子を使って本製品を接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが480iのみである「D1」になります。 		映像機器にS映像出力コネクターまたはD出力端子がある場
をおすすめします。 Sビデオ信号は、輝度と彩度の信号が分かれているため、ビ デオ信号よりも歪みが少なく、鮮明な画像が得られます。 コンポーネント信号は、輝度と赤と青の色差を分離して伝 送するため、高品位な映像表現を行うことができます。 コンポーネント合号用コネクターであるD端子を使って本製品を 接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが 480iのみである「D1」になります。		合は、本製品のSビデオ/コンポーネント入力端子との接続
Sビデオ信号は、輝度と彩度の信号が分かれているため、ビ デオ信号よりも歪みが少なく、鮮明な画像が得られます。 コンポーネント信号は、輝度と赤と青の色差を分離して伝 送するため、高品位な映像表現を行うことができます。 コンポーネント入力は 480i のみ対応です。 コンポーネント信号用コネクターであるD端子を使って本製品を 接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが 480iのみである「D1」になります。		をおすすめします。
デオ信号よりも歪みが少なく、鮮明な画像が得られます。 コンポーネント信号は、輝度と赤と青の色差を分離して伝 送するため、高品位な映像表現を行うことができます。 コンポーネント入力は 480i のみ対応です。 コンポーネント信号用コネクターであるD端子を使って本製品を 接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが 480iのみである「D1」になります。		Sビデオ信号は、輝度と彩度の信号が分かれているため、ビ
コンポーネント信号は、輝度と赤と青の色差を分離して伝 送するため、高品位な映像表現を行うことができます。 コンポーネント入力は 480i のみ対応です。 コンポーネント信号用コネクターであるD端子を使って本製品を 接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが 480iのみである「D1」になります。		デオ信号よりも歪みが少なく、鮮明な画像が得られます。
送するため、高品位な映像表現を行うことができます。 コンポーネント入力は 480i のみ対応です。 コンポーネント信号用コネクターであるD端子を使って本製品を 接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが 480iのみである「D1」になります。		コンポーネント信号は、輝度と赤と青の色差を分離して伝
コンポーネント入力は 480i のみ対応です。 コンポーネント信号用コネクターであるD端子を使って本製品を 接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが 480iのみである「D1」になります。		送するため、高品位な映像表現を行うことができます。
コンポーネント信号用コネクターであるD端子を使って本製品を 接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが 480iのみである「D1」になります。		コンポーネント入力は 480i のみ対応です。
接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが 480iのみである「D1」になります。		コンポーネント信号用コネクターであるD端子を使って本製品を
480iのみである「D1」になります。		接続したい場合、対応するタイプは、映像信号フォーマットが
		480iのみである「D1」になります。

3 スピーカーの音声入力端子と本製品のスピーカー出力端子を スピーカーのオーディオケーブルで接続します。

4 本製品のDC INにACアダプターを取り付け、コンセントにACア ダプターを接続します。

27





ビデオ出力端子を接続している場合、まれに画面がチラつく場合があ ります。 お使いの映像機器に下記端子が装備されている場合は、ビデオ出力 端子での接続から、下記のいずれかの端子での接続に変えること で、チラつきが改善される場合があります。 コンポーネント出力端子 D端子(D1) Sビデオ出力端子

コンポーネント出力端子を接続する場合

本製品前面の「Sビデオ/コンポーネ ント入力端子」と、映像機器、テレ ビゲーム機のコンポーネント出力端 子を、本製品に添付の「Sビデオ/コ ンポーネント端子変換ケーブル」と、 コンポーネントケーブル(コンポー ネント端子-コンポーネント端子)に て接続します。

コンポーネントケーブル(コン ポーネント端子-コンポーネント 端子)は、別途ご用意ください。

(添付品)

Sビデオ/コンポーネント 端子変換ケーブル コンポーネントケーブル (コンポーネント端子-コンポーネント端子)

D端子(D1)を接続する場合 本製品前面の「Sビデオ/コンポーネ ント入力端子」と、映像機器、テレ ビゲーム機のD端子(D1)を、本製品 に添付の「Sビデオ/コンポーネント 端子変換ケーブル」と、コンポーネ ントケーブル(コンポーネント端子-D端子)にて接続します。 コンポーネントケーブル(コン ポーネント端子-D端子)は、 別途ご用意ください。 Sビデオ/コンポーネント コンポーネントケーブル (コンポーネント端子 端子変換ケーブル (添付品) -D端子)

Sビデオ出力端子を接続する場合

本製品前面の「Sビデオ/コンポーネ ント入力端子」と、映像機器、テレ ビゲーム機のSビデオ出力端子を、本 製品に添付の「Sビデオ/コンポーネ ント端子変換ケーブル」と、Sビデオ ケーブルにて接続します。 Sビデオケーブルは、別途ご用意 ください。

端子変換ケーブル

(添付品)

0 Sビデオ/コンポーネント Sビデオケーブル



Sビデオ/コンポーネント入力端子には、Sビデオケーブルを直 接つなぐことはできません。

パソコンの映像を見るための接続 本製品にパソコンを接続します。 接続図は次ページをご覧ください。

- 2 パソコンのアナログRGB出力端子と本製品のアナログRGB入力 端子を添付のアナログRGBケーブルで接続します。
- *3*パソコンの音声出力端子と本製品のパソコン音声入力端子を
 添付のオーディオケーブルで接続します。
- **4** ディスプレイのアナログRGBケーブルを本製品のアナログRGB 出力端子に接続します。
- 5 スピーカーの音声入力端子と本製品のスピーカー出力端子を スピーカーのオーディオケーブルで接続します。
- を 本製品のDC INICACアダプターを取り付け、コンセントにACア ダプターを接続します。



本製品の電源がオフになっていても、パソコン画面はディスプ レイに、パソコン音声はスピーカーに、それぞれ出力されま す。(本製品のACアダプターをACコンセントから抜いた場合は、 パソコン画面、パソコン音声は出力されません。)



使ってみよう

本製品の使用方法や設定方法について説明します。

映像を見よう	3
テレビを見る3	3
接続した映像機器の映像を見る3	3
パソコンを使う3	4
没定/調整をしよう3	5
設定/調整できる項目は3	5
設定/調整方法(基本操作) 3	6
設定/調整方法(項目別)3	9
チャンネル設定	0
地域設定	1
目動選局	2
于勤选问	່ 5
回員嗣王	6
解像度選択	7
PinP設定	8
オフタイマー	0
その他調整5	51

映像を見よう

テレビを見る

- **1** 本体もしくはリモコンの[電源]ボタンを押します。
- **2** [入力切替]ボタンを押してテレビを 選択します。



初めてテレビを見る場合は、チャンネル 設定を行ってください。 チャンネル設定については、40ページ 【チャンネル設定】を参照してください。





調整/設定画面にて、TVモードを[地上波]モードに設定して いる時は地上波(UHF/VHF)のみ、[CATV]モードに設定して いる時はCATVのみを、チャンネル切り替えできます。(51ペー ジ参照)

接続した映像機器の映像を見る

27ページ【映像機器の映像を見るための接続】で取り付けた映像機器の映 像を見ます。





パソコンを使う

30ページ【パソコンの映像を見るための接続】で取り付けたパソコンの画 面を表示するには、本製品をオフにしてください。

または以下の手順を行ってください。





入力ソースがパソコンの場合、 [消音] ボタンはご利用いただ けません。

設定/調整をしよう

設定/調整できる項目は

以下の項目について、設定/調整することができます。



調整方法については、以下のページをご覧ください。
基本的な操作を見る →【設定/調整方法(基本操作)】(36ページ)
詳細な操作を見る →【設定/調整方法(項目別)】(39ページ)

チャンネル設定

テレビを見るためにチャンネル設定をします。

画質調整

画質に関する調整を行うことができます。

オーディオ調整

オーディオに関する調整を行うことができます。

解像度選択

表示する画面の解像度を選択できます。

PinP設定

PinP(ピクチャーインピクチャー)に関する設定を行うことができます。

オフタイマー

設定しておいた時間が経過すると、自動的に本製品の電源をオフにする ことができます。

その他調整

設定/調整画面の表示位置や表示時間、ブルースクリーン、ゴーストリ デューサー、TVモードに関する設定ができます。また本製品の設定を初 期状態に戻すこともできます。

設定/調整方法(基本操作)

本製品を接続しているディスプレイの画面に、設定/調整画面(以下「メ ニュー画面」と呼びます。)を表示させることができます。この画面から、 さまざまな調整や設定ができます。

操作はリモコンでも本体でも行うことができます。



✔ メニュー画面の「メインメニュー」を表示させます。

次の<u>いずれか</u>のボタンを押します。

本 体 [MENU]ボタン

I-O DATA DEVICE, INC.
チャンネル設定
画質調整
オーディオ調整
解像度選択
PinP設定
オフタイマー
その他調整
終了
· /

メインメニュー

2 「メインメニュー」の中から調整/設定したい項目を選び、決定します。

次の<u>いずれか</u>の操作を行います。

- ▲ 体 [CH. +] [CH.] ボタンを押して調整/設定したい項 目まで「メインメニュー」上のカーソルを移動させ、 [ENTER]ボタンを押します。
- リモコン [▲] [▼] ボタンを押して調整/設定したい項目まで 「メインメニュー」上のカーソルを移動させ、[決定] ボタンを押します。

🔏 調整/設定したい内容を選択し、決定します。

次の<u>いずれか</u>の操作を行います。

▲ 体 [CH.+][CH.-]ボタンを押して調整/設定したい内容 までカーソルを移動させ、[ENTER]ボタンを押します。 設定を変更します。

設定が数値でない場合

[ENTER] ボタンを3秒以上長押しした後、

<u>設定が数値の場合</u>

[CH.+][CH.-]ボタンで設定します。 [ENTER]ボタンを押します。

リモコン

[▲] [▼] ボタンを押して調整/設定したい内容まで カーソルを移動させ、[決定] ボタンを押します。 設定を変更します。

設定が数値でない場合

[◀] [▶] で設定します。

設定が数値の場合

[▲] [▼]…1ずつ上下(増減)

[◀] [▶]...5ずつ上下(増減)

[決定]ボタンを押します。

[[]CH.+][CH.-]ボタンで設定します。

4 設定を終了させたい場合は、[戻る] [終了]の順に選 択・決定します。

次の<u>いずれか</u>の操作を行います。

本体 [CH.+][CH.-]ボタンを押して[戻る]までカー ソルを移動させ、[ENTER]ボタンを押します。



[CH.+][CH.-]ボタンを押して[終了]までカー ソルを移動させ、[ENTER]ボタンを押します。

 リモコン [▲] [▼] ボタンを押して [戻る] までカーソルを 移動させ、 [決定] ボタンを押します。
 [▲] [▼] ボタンを押して [終了] までカーソルを 移動させ、 [決定] ボタンを押します。

これで調整/設定の基本操作は終了です。

設定/調整方法(項目別)

(
	\sim	\sim	5
	-		/
14			
Ľ	参	老	
1	~		

調次	整/設定時のボタン の <u>いずれか</u> のボタン	操作を確認しましょう ノを押して操作します。
	メインメニュー	本 体 [MENU]
	表示	リモコン [メニュー]
	カーソル	本体[CH.+][CH]
	移動	リモコン [▲] [▼]
	法中	本体 [ENTER]
	沃定	リモコン [決定]
	設定値の変更	本体 [CH.+][CH] [ENTER]ボタンを3秒 以上長押しすることで、 カーソルを動かす際の 縦横の方向を切り替え られます。
		リモコン [▲] [▼]…1ずつ上下(増減) [◀] [▶]…5ずつ上下(増減)

チャンネル設定

テレビを見るためにチャンネルを設定します。お使いの環境に合った方法 で設定してください。



TVモード(51ページ参照)を[地上波]モードに設定している 時のみ、チャンネル設定をすることができます。 [CATV]モード時は、チャンネル設定ができません。

チャンネル設定を選択すると表示される項目

項目名	設定/調整内容
地域設定	(地上波(UHF/VHF)のみ)
	都道府県、都市名を選択することでチャンネル設定を行
	います。 41ページ参照
自動選局	(地上波(UHF/VHF)のみ)
	自動選局によるチャンネル設定を行います。
	42ページ参照
手動選局	(地上波(UHF/VHF)、CATV)
	手動によるチャンネル設定を行います。
	以下の設定を行うことができます。
	リモコンの数字ボタンに設定したチャンネルを替える
	チャンネルを微調整する
	チャンネルを表示させないようにする。
	43ページ参照
戻る	チャンネル設定画面を終了させ、メニュー画面に戻りま
	す。



地域設定、自動選局では、CATVのチャンネルをリモコンの チャンネルボタンに登録できません。 リモコンのチャンネルボタンにCATVのチャンネルを登録し たい場合は、手動選局を行います。 詳細については【手動選局】(43ページ)をご覧ください。 リモコンのチャンネルボタンにCATVを登録していない状態 で、CATVを選局したい場合 詳細については【その他調整】(51ページ)をご覧くださ い。 地域設定、自動選局では、チャンネル予備ボタンには、何 も登録されません。

地域設定 (地上波(UHF/VHF)のみ) 地域コードによって、地上波(UHF/VHF)のチャンネル設定を行うことが できます。

✔ メニュー画面の「メインメニュー」を表示させます。

- **2** [チャンネル設定]をカーソルで選択し、決定します。
- 3 [地域設定]をカーソルで選択し、決定します。
- ▲ [都道府県][都市]の順に選択し、決定します。

5 [戻る]もしくは[終了]を選択・決定します。

この操作はメニュー画面が消えるまで繰り返してください。 これで地域設定は終了です。

 地域設定にてチャンネルを設定した場合でも、地域によっては 受信できる放送局が異なる場合があります。そのようなときは 個別に手動設定(43ページ参照)を行ってください。
 地域コードでチャンネルを設定すると、先にチャンネル1~12、 P1~P8に個別設定していたチャンネルは取り消されます。
 地域設定では、CATVのチャンネルをリモコンのチャンネルボタンに登録できません。
 リモコンのチャンネルボタンにCATVのチャンネルを登録したい場合
 詳細については【手動選局】(43ページ)をご覧ください。
 リモコンのチャンネルボタンにCATVを登録していない状態 で、CATVを選局したい場合
 詳細については【その他調整】(51ページ)をご覧ください。
 地域設定では、チャンネル予備ボタンには、何も登録されません。 自動選局 (地上波(UHF/VHF)のみ)

自動で、地上波(UHF/VHF)のチャンネルを設定できます。

✔ メニュー画面の「メインメニュー」を表示させます。

2 [チャンネル設定]を選択します。

3 [自動調整]を選択し、決定します。

メニュー画面の右側に、赤色の砂時計マークが5秒ほど表示された のち、自動調整が開始します。自動調整中は、画面右上に「CH SCAN」と表示されます。このとき、メニュー画面は消えていま す。

スキャンが終了すると、スキャンにて受信したチャンネルのうち 1つの放送が表示されます。

これで自動選局は終了です。

自動選局では、CATVのチャンネルをリモコンのチャンネル ボタンに登録できません。 リモコンのチャンネルボタンにCATVのチャンネルを登録し たい場合 詳細については【手動選局】(43ページ)をご覧ください。 リモコンのチャンネルボタンにCATVを登録していない状態 で、CATVを選局したい場合 詳細については【その他調整】(51ページ)をご覧ください。 自動選局では、チャンネル予備ボタンには、何も登録され ません。

手動選局 (地上波(UHF/VHF)、CATV) 手動で、UHF/VHF/CATVのチャンネルを設定できます。

参考

手動選局でのみ、リモコンのチャンネルボタン(チャンネル予備ボタン含む)にCATVのチャンネルを割り当てることができま す。

メニュー画面の「メインメニュー」を表示させます。

- **2** [チャンネル設定]を選択し、決定します。
- 3 [手動調整]を選択し、決定します。
- **4** [リモコンボタン]を選択し、登録したいリモコンボタンの 番号を選択し、決定します。 [リモコンボタン]項目は、1 12(チャンネルボタン)、P1 P8 (予備ボタン)の順で切り替わります。
- 5 [チャンネル]を選択し、登録したい任意のチャンネルを選択し、決定します。

1 ~ 12CH	VHF
13 ~ 62CH	UHF
C13 ~ C63CH	CATV

りモコンのカーソルボタンなどでのチャンネル切り替え時に、手順 5 にて設定したチャンネルを表示させないようにするときのみ、[チャンネルスキップ]にて[オン]を選択し、決定します。

お好みで行う設定です。不要であれば次の手順に進んでください。

🖊 [戻る]もしくは[終了]を選択・決定します。

この操作はメニュー画面が消えるまで繰り返してください。 *これで手動選局は終了です。*

43



リモコンのチャンネルボタンにCATVを登録していない状態で CATVを選局したい場合 詳細については【その他調整】(51ページ)をご覧ください。

チャンネルを微調整するには

受信状態が悪い場合、チャンネルを微調整すると、受信状態を改善でき る場合があります。

メニュー画面の「メインメニュー」を表示させます。

- **2** [チャンネル設定]を選択し、決定します。
- 3 [手動調整]を選択し、決定します。
- **4** [チャンネル微調整]を選択し、決定します。 調整バーが表示されます。
- 5 カーソルを移動させて数値を調整し、決定します。
- **6** [戻る]もしくは [終了]を選択・決定します。 この操作はメニュー画面が消えるまで繰り返してください。 これでチャンネルの微調整は終了です。

44

画質調整

画質に関する調整を行うことができます。 項目の設定方法については、【設定/調整方法(基本操作)】(36ペー ジ)を参照してください。

画質調整を選択すると表示される項目

項目名	設定/調整内容		
コントラスト	コントラスト調整画面が表示されます。		
	(初期値:10)		
輝度	輝度調整画面が表示されます。		
	(初期値:10)		
色の濃さ	色の濃さの調整画面が表示されます。		
	(初期値:10)		
色合い	色合いの調整画面が表示されます。		
	(初期値:10)		
シャープネス	シャープネスの調整画面が表示されます。		
	(初期値:10)		
ガンマ	ガンマの調整画面が表示されます。		
	(初期値:10)		
リセット	画質調整の項目が、初期設定に戻ります		
戻る	画質調整画面を終了させ、メニュー画面に戻りま		
	す。		

コンポーネント入力の場合は、調整できません。

オーディオ調整

オーディオに関する調整を行うことができます。 項目の設定方法については、【設定/調整方法(基本操作)】(36ペー ジ)を参照してください。

オーディオ調整を選択すると表示される項目

項目名	設定/調整内容		
音量	音量ウィンドウが表示されます。(初期値:10)		
音声切替	ステレオ放送のとき、 [ステレオ] [モノラル] のいず れかを選択できます。 (初期値 : ステレオ)		
	ステレオ放送で雑音が気になる場合には… 音声を[モノラル]にすると雑音を軽減す ることができます。		
音多切替	2ヶ国語放送のとき、[主音声][副音声][主/副]の いずれかを選択できます。(初期値:主音声)		
戻る	オーディオ調整画面を終了させ、メニュー画面に戻りま す。		

参考

リモコンなら、メニューからの設定よりも簡単に音声切替の設定ができます

リモコンの[主/副音声切替]ボタンを押すと、音声を[ステ レオ][モノラル][主音声][副音声][主/副]の順に切 り替えることができます。



音声切替は自動では切り替わりません。
音声は自動で切り替わらず、主音声と副音声が同時に出力されます。[主音声][副音声][主/副]のいずれかに設定してください。
[主音声][副音声][主/副]のいずれかの設定した場合は、2ヶ国語番組終了後もその設定のままになっています。
以下の操作を行った場合は、オーディオ調整の各項目がリセットされ、初期値に戻ります。

- ・チャンネルの変更
- ・本製品の電源オン/オフ
- ・入力ソースを切替

解像度選択

表示する画面の解像度を以下の中から選択します。(初期値:640×480) 項目の設定方法については、【設定/調整方法(基本操作)】(36ペー ジ)を参照してください。

解像度選択を選択すると表示される項目

項目名	設定/調整内容
640 × 480	640×480の解像度に設定します。(初期値)
800 × 600	800×600の解像度に設定します。
1024 × 768	1024×768の解像度に設定します。
1280 × 1024	1280×1024(フルスクリーンモード)の解像度に設
(フル)	定します。このモードのアスペクト比は5:4です。
1280 × 1024	1280×1024(アスペクト固定モード)の解像度に設
(4:3)	定します。
	地上波のテレビ画面(アスペクト比は4:3)を表示
	する際、このモードとアスペクト比が同じなので、
	正常な比率で画像を見ることができます。このと
	き、画面の上下に黒い帯が表示されます。
戻る	解像度選択画面を終了させ、メニュー画面に戻りま
	す。

参考

アスペクト比とは? 画面や画像の縦と横の長さ(ピクセル数)の比のこと。 お使いの入力ソースと同じアスペクト比で設定しないと、正常 な比率で画像を見ることができません。 お使いの入力ソースのアスペクト比については、各取扱説明書 をご確認ください。 PinP設定

PinP(ピクチャーインピクチャー)に関する設定を行うことができます。 項目の設定方法については、【設定/調整方法(基本操作)】(36ペー ジ)を参照してください。



PinP(ピクチャーインピクチャー)とは

パソコン画像を表示している画面(メインウィンドウ)上 に、テレビなどの映像機器からの画像をサブウィンドウと して表示する機能です。

PinPをオンにしていると、サブウィンドウの枠が揺れて見え ることがあります。

その場合は、パソコン側の解像度を下げてお使いください。



サプウィンドウの大きさの変更は、メニュー画面でのみ行うこ とができます。

画面上に表示されたサブウィンドウの位置や大きさはマウスな どでは変更できません。本製品のメニュー画面の[PinP画面サ イズ]設定にて変更してください。

PinP設定を選択すると表示される項目

項目名	設定/調整内容
PinP	PinP表示のオン / オフを選択します。 (初期値:オフ)
	[オン] 選択時 ・メインウィンドウ⇒パソコン画面 ・サブウィンドウ ⇒テレビや映像機器の画面
	[オフ]選択時 前回の [オン] 選択時の画面に戻ります。

項目名		設定/調整内容	
PinP画面	PinP表示中のサブウィンドウの大きさを、1~5の 5段陛で恋再できます		
サイス			
	設定値	解像度	
	1	160 × 120	
	2	240 × 180	
	3	320×240(初期値)	
	4	480 × 360	
	5	640 × 480	
	パソコンの解像度が640×480の場合、		
	アディー PinP画面サイズ 5 (640 × 480) は選択		
	で	きません。	
 PinPtk亚位罟	PinP表示中の	サブウィンドウの 水園	「方向の表示位
	青を空車でき	・チンティントラの、ホー	ノロの役が位
	直て交叉ででの右下になる	値に設定されています)	
PinP垂直位置	PinP表示中のサブウィンドウの 垂直方向の表示位		
	置を変更できます。(初期値は、メインウィンドウ		
	の右下になる	値に設定されています)
PinP音声	PinP表示中に出力される音声を、「メイン(パソコン		
	の音声) 1 「サブ (テレビなどの映像機器の音声) 1		
	のどちらかで	選択できます。(初期値	[:サブ)
戻る	PinP設定画面	を終了させ、メニュー画	面に戻ります。

オフタイマー

オフタイマーとは、設定しておいた時間が経過すると、自動的に本製品の 電源をオフにする機能です。

[0分][30分][60分][90分][120分]のいずれかから選択できます。 項目の設定方法については、【設定/調整方法(基本操作)】(36ペー ジ)を参照してください。



リモコンなら、メニューからの設定よりも簡単にオフタイマーを設定 できます

設定するときは

リモコンの [オフタイマー]ボタンを押して、オフタイ マーを設定することができます。 [オフタイマー]ボタン を押すごとに設定時間を切り替えることができます。 解除するときは リモコンの [オフタイマー]ボタンを押して、オフタイ マー時間を [0分]に設定してください。



オフタイマー機能で本製品の電源をオフにしても、接続してい るパソコン、ディスプレイ等の電源はオフになりません。

その他調整

[TVモード]項目を除いた設定方法については、【設定/調整方法(基本 操作)】(36ページ)を参照してください。

その他設定を選択すると表示される項目

項目名	設定/調整内容
メニュー 水平位置	メニュー画面の、水平方向の表示位置を変更で きます。 (初期値:メイン画面の中央になる値 に設定されています)
メニュー	メニュー画面の、垂直方向の表示位置を変更で
王百位百	とより。(初期道:ハイノ画面の中央になる道 に設定されています)
メニュー 表示時間	メニュー画面は、本製品のスイッチ操作をしない でおくと、自動的に消えます。この、メニューが 消えるまでの時間を設定することができます。 (約5~60秒間/初期値:30秒)
ブルー スクリーン	無信号時に、ディスプレイを青く表示する機能 のオン / オフを選択します。
ゴースト リデューサー	ゴーストリデュース機能のオン / オフを選択し ます。 映像が二重に表示される場合、この機能をオン にすると、ノイズを低減することができます。
TVモード	 [地上波] [CATV] の2つのモードのうち、どちらかを選択します。(初期値: [地上波]) [地上波] モード時は地上波(UHF/VHF)のみ、[CATV] モード時はCATVのみを、チャンネル切り替えできます。(詳しくは、次ページの 【 リモコンのチャンネルボタンにCATVを登録していない状態で、CATVを選局したい場合】をご覧ください。)

項目名	設定/調整内容	
リセット	調整/設定の値を、初期設定に戻すことができます。 ただし、チャンネル設定はクリアされません。 本体の[MENU]ボタンを押しながら 電源をオンにすると、初期設定で起 動することができます。	
戻る	その他調整画面を終了させ、メニュー画面に 戻ります。	

リモコンのチャンネルボタンにCATVを登録していない状態で、CATVを選 局したい場合

TVモードを、 [地上波]から [CATV]に切り替えます。

- 1 メニュー画面の「メインメニュー」を表示させます。
- 2 [その他調整]を選択し、決定します。
- **3** [TVモード]にて[CATV]を選択し、決定します。
- **4** [**戻る**]もしくは[終了]を選択・決定します。 この操作はメニュー画面が消えるまで繰り返してください。

5 CATVのチャンネルを選択します。

以下のいずれかの操作を行ってください。

- ・本体の[CH.+][CH.-]ボタンを押して、CATVのチャンネル 数を指定する。
- ・リモコンの [▲][▼]ボタンを押して、CATVのチャンネル数を 指定する。
- ・リモコンのチャンネルボタンを、数字を打ち込むキー(テンキー)として使い、CATVのチャンネル数をダイレクトに入力する。
 - (例1) CATVの38ch・・・・・リモコンのチャンネルボタンの 3 8 を順に押す
 - (例2)CATVの20ch・・・・・・リモコンのチャンネルボタンの [2] [10] を順に押す

以下のチャンネルボタンは、テンキーとしては機能し ませんのでご注意ください。

- ・チャンネルボタンの 11 12 ボタン
- ・チャンネル予備ボタン



これで、リモコンのチャンネルボタンにCATVを登録していない状態での、 CATVの選局は終了です。

困ったときには

本製品を使用していてトラブルがあった場合にご覧ください。



リモコンが反応しない55
本製品で受信しているテレビが映らない55
本製品の入力端子に接続している機器の映像が映らない56
本製品で受信しているテレビの映りが悪い56
ディスプレイの映像が見づらい56
接続したスピーカーから音声が聞こえない 接続したヘッドホンから音声が聞こえない57
音量の変更ができない57
青い画面になる

本体の電源が入らない		
原因1	ACアダプターがコンセントと接続されていない。	
対処	ACアダプターの接続をご確認ください。	
原因2	結露している。	

対処 結露がなくなるまでしばらく放置してください。

リモコンが反応しない

原因1	リモコンに電池が入っていない。	
対処	電池が入っていることをご確認ください。	(24ページ参照)

原因2	電池が消耗している。	
対処	新しい電池と交換してください。	(24ページ参照)

原因3	リモコンを本製品の赤外線受光部に向けていない、	もしくは赤
	外線受光部から5メートル以上離れている。	

対処 リモコンを本製品の赤外線受光部に向け、5メートル以内で使 用してください。

本製品で受信しているテレビが映らない

原因1	アンテナ端子がきちんと接続されていない。
対処	アンテナ端子の接続をご確認ください。
原因2	本製品とディスプレイがきちんと接続されていない。
対処	ディスプレイの接続をご確認ください。
原因3	本製品に接続したディスプレイの電源がオフになっている。
対処	ディスプレイの電源をご確認ください。

原因4	チャンネルの設定がされていない。	
対処	チャンネル設定をご確認ください。	(40ページ参照)

本製品の入力端子に接続している機器の映像が映らない

原因1	表示したい機器の電源がオンになっていない。
対処	機器の電源をご確認ください。

 原因2
 本製品との接続がきちんとされていない。

 対処
 接続をご確認ください。

原因3 表示したい機器への入力ソース切り替えがされていない。対処 入力ソースを切り替えてください。

本製品で受信しているテレビの映りが悪い

原因	チャンネル設定の微調整が必要。	
対処	チャンネルの微調整をしてください。(44ページ参照)	

ディスプレイの映像が見づらい

原因1	本製品の画質調整が必要。
対処	本製品の調整/設定画面にて、画質調整を行ってください。 (45ページ参照)

原因2	ディスプレイの画質調整が必要。
対処	ディスプレイの取扱説明書を参照して画質を調整してください。

接続したスピ	ーカーから	音声が聞こ	えない
接続したヘッ	ドホンから	音声が聞こ	えない

原因1	本製品との接続がきちんとされていない。
対処	接続をご確認ください。
原因2	音量が「0」になっている。

対処 音量をご確認ください。

原因3 本製品の消音機能を使用したままになっている。対処 リモコンの[消音]ボタンを押してください。

音量の変更ができない

原因	本製品の消音機能を使用したままになっている。
対処	リモコンの[消音]ボタンを押してください。

青い画面になる

原因	選択している入力ソースに映像信号がない。
対処	映像機器をオンにするか、映像信号のある入力ソースに切り替
	えてください。

ふろく

仕橋	羕.			• •		• •	•	•	 •	•	•	• •	• •	•	•	•	•	• •	• •	•	•	•	•	•	 •	 •	•	 5	9
お問	⑤し	合	計	ot	<u>+</u> .			•		•	•				•	•	•				•	•	•	•				 6	1
修理	里に		51	17	ς.															•	-							 6	2

仕様

ニードイー ナ 切	受信テレビ	VHF : 1 ~ 12CH UHF : 13 ~ 62CH CATV : C13 ~ C63CH	
テレビチューテー部	テレビ音声	2ケ国語 ステレオ モノラル	
入力信号		アナログRGB(D-Sub15ピン)×1 ビデオ×1 Sビデオ×1/コンポーネントビデ オ(480i)×1 ¹ PCオーディオ オーディオ(L/R) ²	
出力信号		アナログRGB(D-Sub15ピン)×1 スピーカー出力×1 ヘッドホン出力×1	
出力解像度 ³		VGA (640×480:60/75Hz) SVGA (800×600:60/75Hz) XGA (1024×768:60/75Hz) SXGA (1280×1024:60Hz)	
		ACアダプター (AC100V DC12V/1A)	
動作環境	温度	0 ~+35	
	湿度	20%~80%(結露なきこと)	
	消費電流	AC1A(最大)	
外形寸法		160 (₩) ×115 (D) ×26 (H)mm 縦置き時。ただしスタンド・コネ クターなどの突起部を除く。	
質量		約295g(本体のみ)	

1:添付のSビデオ/コンポーネント端子変換ケーブルを使用して接続し てください。

- 2:オーディオ入力端子は、ビデオ/Sビデオ/コンポーネント共通です。
- 3:テレビ画面をフルスクリーン表示している時は、75Hzのリフレッシュレートに対応していません。

59

コネクター形状・ピンアサイン

アナログRGB出力端子/入力端子 ケーブル側 <u>D-Sub15 ピンコネクター</u>



ピン番号	内容	ピン番号	内容
1	アナログ赤色映像信号	9	DDC/5V
2	アナログ緑色映像信号	10	同期信号用GND
3	アナログ青色映像信号	11	未接続
4	未接続	12	DDC/SDA
5	GND	13	水平同期信号
6	アナログ赤色映像信号用GND	14	垂直同期信号
7	アナログ緑色映像信号用GND	15	DDC/SCL
8	アナログ青色映像信号用GND		

Sビデオ/コンポーネント入力端子



ピン番号	内容	ピン番号	内容
1	GND	5	GND
2	コンポーネント Y信号	6	Sビデオ C信号
3	GND	7	コンポーネント Pr信号
4	コンポーネント Pb信号	8	Sビデオ Y信号

お問い合わせ

本製品に関するお問い合わせは弊社サポートセンターで受け付けています。

1 まず、弊社ホームページをご確認ください。

【困ったときには】で解決できない場合は、サポート Web ページ内の「製品 Q&A、News」などもご覧ください。過去にサポートセンターに寄せられた事例なども紹介されています。こちらも参考になさってください。

http://www.iodata.jp/support/ 製品Q&A, Newsなど

2 それでも解決できない場合は下記へお問い合わせください。

住所: 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル 株式会社アイ・オー・データ機器 サポートセンター 電話: 本社…076-260-3646 東京…03-3254-1036 ※受付時間 9:30~19:00 月~金曜日(祝祭日を除く)

FAX: 本社…076-260-3360 東京…03-3254-9055

インターネット: http://www.iodata.jp/support/



修理について

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。 お客様が貼られたシールなどについて 修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。 その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ごて承く

ださい。

修理金額について

- ・保証期間中は、無料修理いたします。 ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当 する場合は、有料となります。 保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
- ・保証期間が終了した場合は、有料にて修理いたします。 弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合が あります。
- ・お送りいただいた後、有料修理となった場合のみ、往復はがきにて 修理金額をご案内いたします。修理するかをご検討の上、検討結果 を記入してご返送ください。
 - (ご依頼時に FAX 番号をお知らせいただければ、修理金額を FAX に て連絡させていただきます。)
 - 修理しないとご判断いただきました場合は、無料でご返送いたします。

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

メモに控え、お手元に置いてください お送りいただく製品の製品名、シリアル番号(製品に貼付されたシー ルに記載されています)、お送りいただいた日時をメモに控え、お手 元に置いてください。

これらを用意してください

- ・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書(コピー不可) ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
- ・下の内容を書いたもの 返送先[住所/氏名/(あれば)FAX 番号],日中にご連絡できるお電話 番号,ご使用環境(機器構成、OS など),故障状況(どうなったか) 修理品を梱包してください
- ・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
- ・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してくだ さい。

ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。 修理をご依頼ください

- ・修理は、下の送付先までお送りくださいますようお願いいたします。 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の 費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
- ・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送り ください。

送付先 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 アイ・オー・データ第2ビル 株式会社アイ・オー・データ機器 修理センター 宛

修理品の返送

修理品到着後、通常約1週間ほどで弊社より返送できます。 ただし、有料の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。 【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。

したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変すること は法律で禁じられています。

- 2)本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器、兵器システム などの人命に関る設備や機器、及び海底中継器、宇宙衛星などの高度な信頼性を必要とす る設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。こ れら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事 故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設 備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計な ど、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
- 3) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
- 4)お客様は、本製品または、その使用権を第三者に再使用許諾、譲渡、移転またはその他の 処分を行うことはできません。
- 5) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品の ご使用を終了させることができるものとします。
- 6) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負 いかねます。

また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っ ておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inabilit y to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-se rvice for this product outside Japan.)

7)本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。 国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があり

ます。

8)本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますの でご了承ください。

I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
 Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
 Apple, Macintosh, Power Macintoshは、米国Apple Computer, Inc.の登録商標です。
 その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

TVBOXES 取扱説明書 2004.9.17 M-MANU200008-01 発行株式会社アイ・オー・データ機器 〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地

© 2004 I-0 DATA DEVICE, INC. All rights reserved.
 本製品および本書は著作権法により保護されておりますので
 無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

電話番号 金沢 076-260-3646 東京 03-3254-1036 電話受け付け時間9:30~19:00 月~金曜日(祝祭日を除く) FAX番号 金沢 076-260-3360 東京 03-3254-9055